

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取商業高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成	提出日	令和4年12月21日
------	--------------	-----	------------

1 学校目標
地域の産業経済界をリードし活躍する人材の育成
2 重点項目に係る目標
(1) 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける。 (2) ビジネス社会及びグローバル社会に必要な力を身につける。 <数値目標> (1) <u>全商検定1級3種目以上取得者60%以上(3年卒業時)</u> 全商(全国商業高等学校協会)が主催する検定試験(全9種目)の1級取得に向けた、専門人材育成に係る学習の成果指標。検定合格には各専門領域の知識だけでなく、文章読解力、思考力、計算力、語学力等の総合的な学力が求められる。 (2) <u>鳥商デパート お客様満足度95%以上、生徒の学びの充実度95%以上</u> 生徒自身が企画、仕入れ、販売、決算等のすべてを行う鳥商教育の集大成。地域社会の信頼・信用に支えられて、令和5年度は第30回を開催予定。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため前年度同様に限定開催となり、来場者を学校関係者、中学校2・3年生(人数制限あり)とその保護者(各家庭1名)及び希望する中学校教員に限定し、2日間で来場者は約2,000人、売り上げは約510万円であった。令和5年度は通常通り(フルオープンで)開催できることを期待したい。
3 事業計画(事業名、事業概要)
【独自事業】 1 <u>商業教育フォーラム</u> (1) 実施時期: 7月 (2) 対象: 全校生徒・本校教員 (3) 目的: ①全国の商業高校に学ぶ生徒との交流をとおして、各学校の特色や商業教育に対する考え方を共有し、商業高校生としての自信と誇りを持たせるとともに、相互研鑽に資する姿勢を身につけさせる。 ②発表やシンポジウムをとおして生徒のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を育成する。 (4) 内容: 全国の伝統校や優れた取組を行い成果を上げている学校が、その特色や具体的な取組について発表する。その発表について意見交換等を行い、取組や特色、商業に対する考え方について相互理解を深める。

(様式1)

2 グローバルビジネス推進事業

(1) 実施時期：通年

(2) 対 象：本校教員・留学生交流会参加希望生徒

(3) 目 的：①大学留学生等との交流をとおして、他国の文化、歴史、生活等に触れることでその国についての理解を深めるとともに、グローバル感覚を養う。また、他国のビジネス等の現状についても知ることで、グローバルなビジネス展開への興味関心を高める。

②先進的に国際交流に取り組んでいる商業高校を視察し、交流を深めることで国際的視野を有する生徒を育成するための方策や指導法を学ぶ。

③英語でコミュニケーションをとることを体験することで、英語学習への意欲を高める。

(4) 内 容：①近隣の県外先進校の視察や意見交換を行い、学校設定科目「グローバルビジネス」やその他の授業・活動で生徒のグローバル感覚を育成できる指導法を学ぶ。

②生徒が世界の様々な社会問題について身近な問題として考え、留学生に自分の意見を伝え意見交換する。

3 鳥商デパート

(1) 実施時期：12月2日(土) 3日(日)

(2) 対 象：全学年生徒(運営主体は3年生全員)

(3) 目 的：①3年間を通じた学習成果を発表する機会を創出する。

②時代に合った新しいデパートの在り方も模索しながら、売上・来客者数の増加、サービスの質向上のための方策について生徒同士がアイデアを出し、協働することにより、ビジネス社会に必要な企画力・実行力・協調性を養う。

③県民に広く、本校の活動や生徒の様子を認知してもらう場とする。

④全国のデパート実施の商業高校との連携を進めるとともに、近隣の学校との異校種間連携も進める。

(4) 内 容：本校施設(大体育館、小体育館、屋外施設)を会場に約10の店舗を設営し、「企画→仕入れ→販売→決算→次回への引継ぎ」(PDCAサイクル)等の一連の活動すべてを、生徒が主体的に行う鳥商教育の集大成。東部地区の小中学生の参加(希望者を各店舗に配属するなど)も予定している。

※枚数任意